

# 令和5年度 小山第二小学校の教育活動の評価について（集計結果）

令和5年度の本校教育活動の評価について、結果を取りまとめましたので御報告いたします。

保護者の皆様からいただいた評価を真摯に受け止め、来年度の取組に反映して参ります。引き続き、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 心 心の豊かなたくましい子ども【心づくり】に関する評価

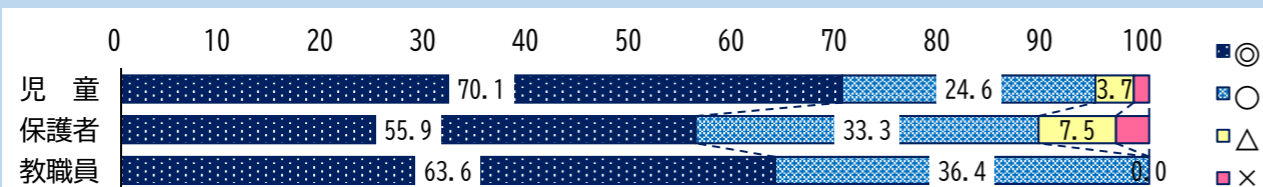


### 【成果がみられた項目】

「笑顔で楽しく生活しているか」の設問については、児童と保護者の肯定的評価の平均は90%以上でした（グラフ1参照）。そのほか、「体験学習の充実」「約束やきまりの順守」「子どもの良さや努力の認知」の設問については、児童と保護者の肯定的評価の平均はいずれも約90%でした。

（グラフ1）設問1 笑顔で楽しく生活

- ・児童 私は、友達を大切に、笑顔で楽しく生活している。
- ・保護者 子どもは、友達を大切に、笑顔で過ごしている。
- ・教職員 子どもが、友達を大切に、笑顔で過ごせるよう指導している。

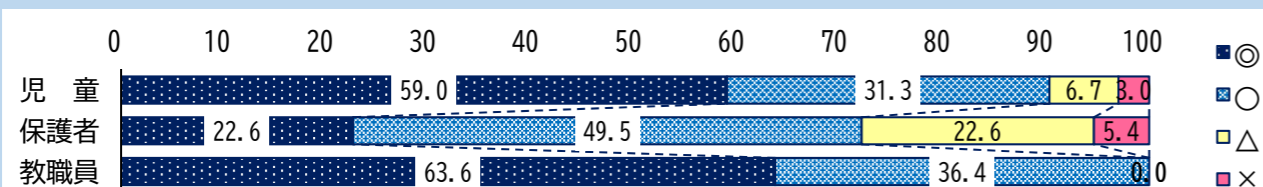


### 【課題がみられた項目】

「挨拶や返事」の設問については、児童や教職員の評価と比較して保護者の評価が低く、肯定的評価は約72%でした（グラフ2参照）。また、「子どもの悩みや相談への対応」の設問では、「困ったことがあったら先生に相談できるか」について児童の評価が低く、肯定的評価が約80%でした。

（グラフ2）設問3 挨拶や返事

- ・児童 私は、元気に挨拶や返事をしている。
- ・保護者 子どもは、元気にあいさつや返事をしている。
- ・教職員 挨拶や返事の指導をしている。



### 【今後の主な取組】

- ・児童一人一人を大切に、自他の良さを共有できる場づくりを推進します。また、毎月の心の相談カード、定期的な教育相談やQ-U（児童の学校生活への意欲や学級の満足度を把握するためのアンケート）の実施により実態を把握し、問題の早期発見と児童に寄り添った対応を行います。
- ・挨拶をはじめとした基本的な生活習慣の形成について継続して指導します。また、コミュニケーション能力を高め、人と関わる心地よさを味わわせるため、保護者や地域住民等の協力を得て学習・体験・交流活動を行ったり、児童の創意や主体性が発揮できる機会を設定したりします。

## 頭 よく考え 進んで学ぶ子ども【頭づくり】に関する評価

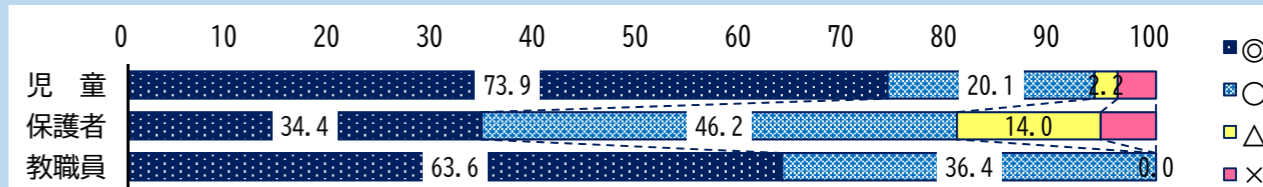


### 【成果がみられた項目】

「家庭学習の習慣」の設問については、児童と保護者の肯定的評価の平均は約87%でした。児童については、昨年度より6ポイント増加しています（グラフ3参照）。また、「目標達成に向けた努力」「授業内容の理解」の設問については、児童の肯定的評価はいずれも90%以上でした。

（グラフ3）設問10 家庭学習の習慣

- ・児童 私は、家庭学習（宿題・自主学習）を毎日行っている。
- ・保護者 子どもは、家庭学習（宿題・自主学習）の習慣が身に付いている。
- ・教職員 家庭学習（宿題・自主学習）の充実を図っている。

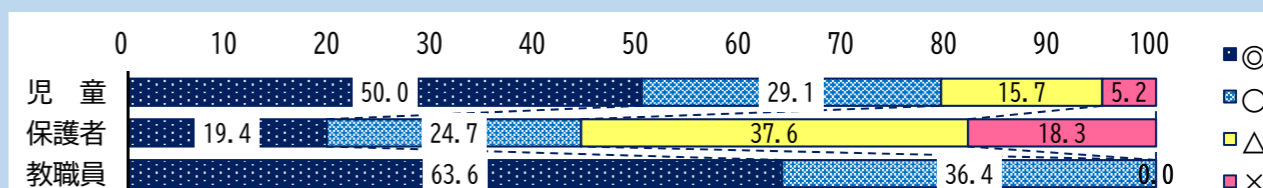


### 【課題がみられた項目】

「読書の習慣」の設問については、肯定的評価が児童は約79%、保護者は約44%でした（グラフ4参照）。そのほか、「目標設定と達成に向けた努力」「授業内容の理解」「タブレット（ICT機器）等の活用」「主体的・対話的な学び」の設問については、保護者の肯定的評価は約62%～76%の範囲であり、保護者の評価が低い結果となりました。

（グラフ4）設問12 読書の習慣

- ・児童 私は、進んで読書をしている。
- ・保護者 子どもは、進んで読書をしている。
- ・教職員 子どもが進んで読書するよう指導している。

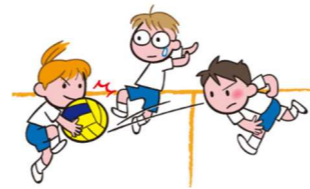


### 【今後の主な取組】

- ・個に応じた指導の充実に向け、教員がチームを組んで行う授業や習熟度別学習を実施するとともに、児童が主体的に考えたり友達と伝え合ったりして学習を進める時間を確保します。また、一人一台端末（タブレット）を効果的に活用します。あわせて、保護者の協力をいただき、家庭学習の習慣化を図ります。
- ・児童が本に親しむようにするため、朝の読書時間の確保、「おすすめブック」の提示、ボランティアによるお話会の開催や家読週間の設定に引き続き取り組みます。また、各種たよりやホームページを活用して、本校における読書活動の周知、読書の効果や家庭における取組例等の情報提供を行います。

表記について ◎：よくあてはまる ○：どちらかといえばあてはまる △：どちらかといえばあてはまる ×：あてはまらない

## 体 体をきたえる 元気な子ども【体づくり】に関する評価

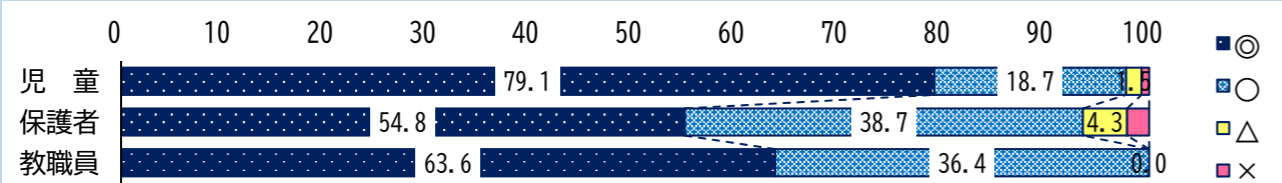


### 【成果がみられた項目】

「安全教育の充実」の設問については、児童と保護者の肯定的評価の平均は約96%であり、全設問中で最も高い割合でした（グラフ5参照）。また、「運動や体を動かす遊びの習慣」「けがや病気の予防」の設問については、児童の肯定的評価はいずれも90%以上でした。

（グラフ5）設問17 安全教育の充実

- ・児童 私は、避難訓練や交通安全教室で学んだことなどを生かして、安全に気を付けて生活している。
- ・保護者 学校は、避難訓練や交通安全教室などをとおして、安全教育の充実を図っている。
- ・教職員 交通安全や避難訓練等をとおして、安全教育の充実を図っている。

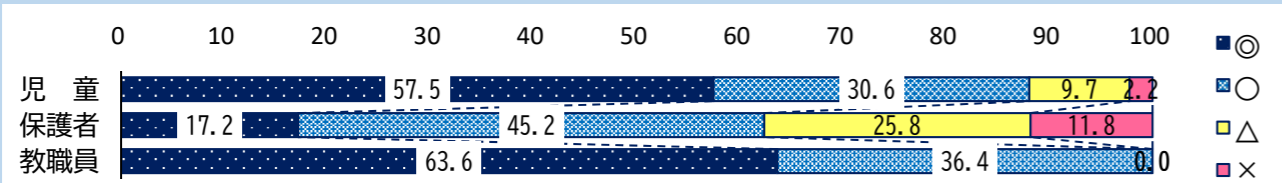


### 【課題がみられた項目】

「ゲームやインターネットの約束の順守」の設問については、保護者の肯定的評価は約62%（グラフ6参照）であり、児童の評価に対して保護者の評価が低い結果となりました。また、「生活習慣・食習慣」の設問については、肯定的評価が児童は約81%、保護者は72%でした（グラフ7参照）。

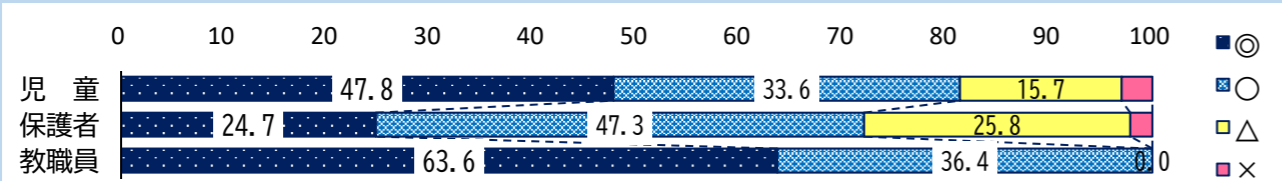
（グラフ6）設問15 ゲームやインターネットの約束の順守

- ・児童 私は、家でゲームやインターネットの使用の約束を守っている。
- ・保護者 子どもは、ゲームやインターネットの約束を守っている。
- ・教職員 子どもが、ゲームやインターネットの約束を守るよう指導している。



（グラフ7）設問16 生活習慣・食習慣

- ・児童 私は、早寝・早起きができ、朝ごはんや給食を好き嫌いなく食べている。
- ・保護者 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんを心がけて生活し、食事を好き嫌いなく食べている。
- ・教職員 子どもが、早寝・早起き・朝ご飯を心がけて生活し、好き嫌いしないで食べるよう指導している。



### 【今後の主な取組】

- ・児童の体力向上を図るため、運動に集中して取り組む期間の設定や休み時間の外遊びの奨励に取り組みます。また、関係教科の学習、学校保健委員会の開催や栄養士による食育の授業を実施し、児童がより良い生活習慣の形成について学び、考える時間を設けます。
- ・「自分の命は自分で守る」といった児童の安全に対する意識を高め緊急時に対応できる力を養うため、引き続き、避難訓練の定期的な実施、交通安全教室の開催や登下校時の安全指導等を行います。

## 協 学校・家庭・地域の連携に関する評価

※保護者・教職員回答

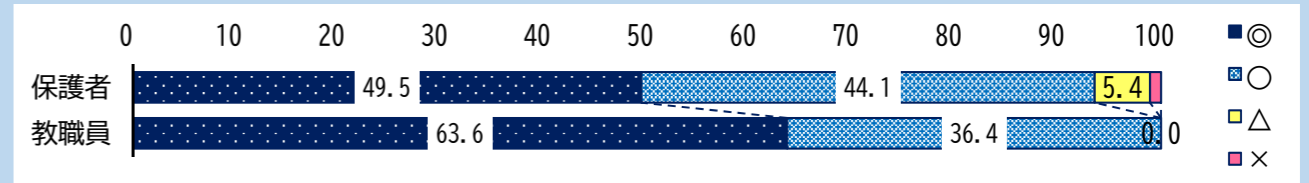


### 【成果がみられた項目】

「家庭・地域への情報提供」「地域とともにある教育活動の展開」の設問については、保護者の肯定的評価は90%以上でした（グラフ8・グラフ9参照）。

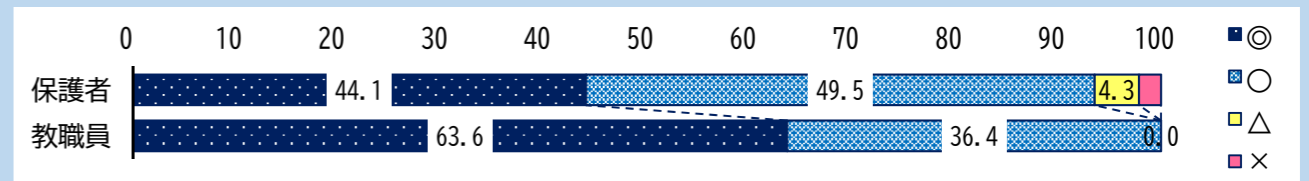
（グラフ8）設問19 家庭・地域への情報提供

- ・保護者 学校は、家庭、地域の方にお便りやホームページ、メール等による情報提供に努めている。
- ・教職員 家庭、地域の方にお便りやホームページ、メール等による情報提供に努めている。



（グラフ9）設問20 地域とともにある教育活動の展開

- ・保護者 学校は、家庭や地域と交流したり、家庭や地域の方に協力いただいたりして、「地域とともにある教育活動」を展開している。（コミュニティ・スクールを含む）
- ・教職員 家庭や地域と交流したり、地域人財を活用したりして、「地域とともにある教育活動」を展開している。（コミュニティ・スクールを含む）

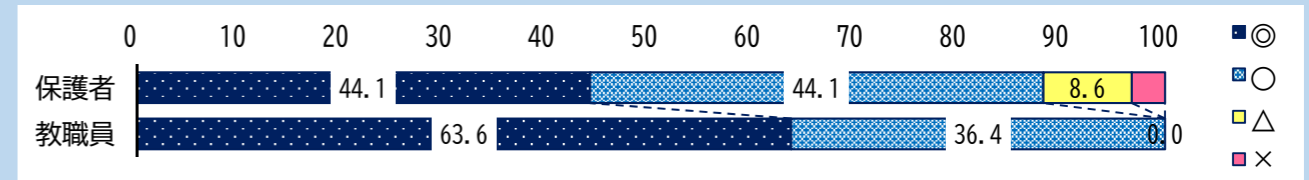


### 【課題がみられた項目】

「小中一貫教育の取組」の設問については、保護者の肯定的評価は約88%でした（グラフ10参照）。昨年度の同様の質問と比較して、肯定的な評価の割合が約10ポイント減少しました。

（グラフ10）設問18 小中一貫教育の取組

- ・保護者 学校は、二中ブロックの小中一貫教育（挨拶・家読週間・学習のきまり・自問清掃等）に取り組んでいる。
- ・保護者 二中ブロックの小中一貫教育の取り組みを理解し、実践している。



### 【今後の主な取組】

- ・学校の教育活動や小中一貫教育に対する理解促進を図るため、学校だよりをはじめとした各種たよりの定期的な発行とともに、ホームページ、職員室コネクトサービスのメールを活用した情報発信を行います。また、学校行事の実施やボランティア募集により多くの方に来校いただく機会を設定します。
- ・「地域とともにある学校」づくりを推進するため、学校運営協議会、地域学校協働本部会議、PTA運営委員会の関係会議において、保護者や地域住民等の意見聴取や協議を行い、教育活動に反映します。

表記について ◎：よくあてはまる ○：どちらかといえばあてはまる → ◎と○の計を「肯定的評価」と記載しています

△：どちらかといえばあてはまる ×：あてはまらない